

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月29日

上場会社名 株式会社北弘電社

上場取引所 札

コード番号 1734 URL <http://www.kitakoudensha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中野 章

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 総務部長

(氏名) 鈴木 克敏

TEL 011-640-2231

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	2,994	△20.8	△181	—	△166	—	△170	—
21年3月期第2四半期	3,780	—	△50	—	△38	—	△47	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△26.40	—
21年3月期第2四半期	△7.26	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	5,977	3,322	55.6	513.04
21年3月期	7,689	3,493	45.4	539.41

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 3,322百万円 21年3月期 3,493百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△15.5	100	△79.3	110	△78.1	50	△64.0	7.72

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

[(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	6,500,000株	21年3月期	6,500,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	24,295株	21年3月期	23,795株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	6,475,871株	21年3月期第2四半期	6,481,890株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における北海道経済は、経済対策効果による個人消費の一部持ち直し、公共工事の発注前倒し等があったものの、住宅着工の大幅減少に加え、民間設備投資は抑制姿勢が強く経営環境は依然と厳しい状況下であります。

このような厳しい環境のもと、当社は、懸命な営業活動を展開し受注の確保に努力した結果、当第2四半期会計期間における受注高は2,380百万円(前年同期比1,800百万円の減少)、売上高は1,696百万円(前年同期比602百万円の減収)となりました。

損益につきましては、経常損失は29百万円(前年同期比94百万円の増加)、四半期純損失は31百万円(前年同期比89百万円の増加)となりました。

当第2四半期累計期間における受注高は5,730百万円(前年同期比1,635百万円の減少)、売上高は2,994百万円(前年同期比786百万円の減収)となりました。

損益につきましては、例年、下半期後半に竣工する工事が大半を占め売上高が下半期に偏る傾向にあることから、経常損失は166百万円(前年同期比128百万円の増加)、四半期純損失は170百万円(前年同期比123百万円の増加)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1,712百万円減少の5,977百万円となりました。主な増減は、未成工事支出金1,157百万円等は増加となりましたが、完成工事未収入金2,170百万円及び現金預金494百万円並びにその他に含まれている立替金349百万円等は減少となりました。

負債合計は、前事業年度末に比べ1,541百万円減少の2,654百万円となりました。主な増減は、未成工事受入金192百万円等は増加となりましたが、支払手形及び買掛金1,066百万円及びその他に含まれている未払金359百万円並びに未払法人税等261百万円等は減少となりました。

また、第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ171百万円減少の3,322百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

現段階では平成21年5月14日に発表しました業績予想数値に変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・ 会計処理基準に関する事項の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、請負金額1億円以上かつ工期1年超の工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期会計期間より適用し、第1四半期会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これにより、当第2四半期累計期間の売上高は20百万円、売上総利益2百万円増加し、営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失はそれぞれ2百万円減少しております。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,048,625	1,542,656
受取手形及び売掛金	538,083	516,322
完成工事未収入金	1,176,039	3,346,069
商品	70,070	36,668
未成工事支出金	1,406,134	249,066
その他	141,988	428,395
貸倒引当金	△2,500	△2,500
流動資産合計	4,378,442	6,116,678
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	696,245	706,022
その他(純額)	484,074	482,805
有形固定資産合計	1,180,320	1,188,827
無形固定資産	13,738	15,126
投資その他の資産		
投資有価証券	302,381	261,664
その他	111,757	117,042
貸倒引当金	△9,467	△9,516
投資その他の資産合計	404,671	369,190
固定資産合計	1,598,730	1,573,145
資産合計	5,977,173	7,689,824
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	728,473	1,795,404
工事未払金	303,905	292,600
未払法人税等	7,121	268,179
未成工事受入金	480,207	287,681
賞与引当金	92,742	81,308
工事損失引当金	208	2,845
その他	149,071	553,556
流動負債合計	1,761,729	3,281,576
固定負債		
長期未払金	193,948	192,749
退職給付引当金	667,230	683,429
役員退職慰労引当金	22,080	28,821
環境対策引当金	9,907	9,907
固定負債合計	893,165	914,907
負債合計	2,654,895	4,196,483

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	840,687	840,687
資本剰余金	687,108	687,108
利益剰余金	1,820,829	2,004,755
自己株式	△3,694	△3,634
株主資本合計	3,344,930	3,528,916
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△22,652	△35,575
評価・換算差額等合計	△22,652	△35,575
純資産合計	3,322,277	3,493,340
負債純資産合計	5,977,173	7,689,824

(2)【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高		
完成工事高	2,804,894	1,967,761
商品売上高	976,071	1,027,007
売上高合計	3,780,965	2,994,769
売上原価		
完成工事原価	2,511,600	1,787,913
商品売上原価	880,155	936,720
売上原価合計	3,391,756	2,724,634
売上総利益		
完成工事総利益	293,293	179,847
商品売上総利益	95,916	90,287
売上総利益合計	389,209	270,135
販売費及び一般管理費	439,808	451,320
営業損失(△)	△50,598	△181,185
営業外収益		
受取利息	1,965	1,647
受取配当金	5,214	2,804
保険解約返戻金	—	4,246
その他	5,190	6,302
営業外収益合計	12,371	15,000
営業外費用		
支払利息	—	224
その他	88	63
営業外費用合計	88	287
経常損失(△)	△38,315	△166,472
特別利益		
固定資産売却益	—	238
貸倒引当金戻入額	676	—
特別利益合計	676	238
特別損失		
固定資産除却損	227	340
貸倒引当金繰入額	4,725	—
特別損失合計	4,952	340
税引前四半期純損失(△)	△42,592	△166,573
法人税、住民税及び事業税	4,449	4,400
四半期純損失(△)	△47,041	△170,973

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高		
完成工事高	1,790,890	1,140,479
商品売上高	508,388	555,973
売上高合計	2,299,279	1,696,452
売上原価		
完成工事原価	1,570,299	1,010,949
商品売上原価	450,905	504,605
売上原価合計	2,021,205	1,515,555
売上総利益		
完成工事総利益	220,590	129,529
商品売上総利益	57,483	51,368
売上総利益合計	278,074	180,897
販売費及び一般管理費	216,951	217,523
営業利益又は営業損失(△)	61,122	△36,625
営業外収益		
受取利息	1,382	1,269
受取配当金	971	401
保険解約返戻金	—	4,246
その他	2,426	1,840
営業外収益合計	4,780	7,757
営業外費用		
支払利息	—	109
その他	60	34
営業外費用合計	60	144
経常利益又は経常損失(△)	65,843	△29,012
特別利益		
固定資産売却益	—	238
特別利益合計	—	238
特別損失		
固定資産除却損	—	14
貸倒引当金繰入額	4,725	—
特別損失合計	4,725	14
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	61,118	△28,788
法人税、住民税及び事業税	2,224	2,224
四半期純利益又は四半期純損失(△)	58,893	△31,013

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし